

2017年 8月 13日 《聖餐式・平和祈念礼拝》

主 日 礼 拜

司	①8時半～	②10時半～	③夜7時～
会	①石井師	②白川 達男兄	③石井師

祈 禱 ①石井師 ②白川 達男兄 ③石井師
賛 美 聖歌 404 番 & 「聖霊様あなたを求めます」

平和の祈り

聖書

①ローマ人への手紙8章31～37節
②ヨハネによる福音書7章37～44節

特別贊美

宮田四郎兄（アルプホルン）

メッセージ

①「うれしくて、ありがたくなって、感謝いっぱい!」大川牧師
②「平和の道を歩み続ける」石井 潤牧師

聖餐式

賛美「主イエスの十字架の血で」
聖歌229番「おどろくばかりの」

献 金

祝 禱

[献金当番：青木姉・和田姉]

お知らせ

【司会者】

贊美

「注ぎたまえ主よ」

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!
《今週のお知らせ》

1. 本日は「平和祈念礼拝」。世界の人々に平和、救いがなされますように。
2. 本日午後 1 時～、執事会を行います。来月の「敬老祝賀会」のため。
3. 今週の祈り会：①火曜朝 6 時～早天祈祷会。②木曜午前 10 時半～、
③夜 7 時半～故ハ・ヨンジョ師(大和祈祷会参加)。④土曜夜 8 時～準備祈祷会。
4. 木曜午後 2 時半～、上田市大手の石井兄妹宅にて家庭集会が行われます。

8/24(木):WOGA 集会 27(日):聖歌隊 28(月):長野家庭集会

一年に一回聖書を完読できる！ *Bible Reading Plan* [8/13~/20]

[illegible]

「平和の道を歩み続ける」

～日々主の愛の中に生き続ける～

「だれでも心が渇いている人は、わたしのもとに来て、心の渇きをいやす水を飲みなさい。わたしを信じる人は、旧約聖書の預言書で教えられているように、その人の心の奥底から、命の水が川となって流れ出るようになります。」

ヨハネによる福音書7章37・38節[現代訳]

本日は「平和祈念礼拝」を持つことができることを感謝致します。

唯一の被爆国日本。また、2011年の震災を通して大きな痛みを経験しました。だからこそ、平和に対してさらに深い憧憬を持って受け止めることができていると信じています。

オープン・ドアーズというアメリカの宣教団体は、世界中で迫害に合っているクリスチャンたちを調べました。最も酷い迫害を受けているのは、北朝鮮であるという調査結果を提示しました。今でも40～50万人の隠れクリスチャンたちが苦しい迫害の中にあるということです。もちろんお隣の中国でも特に山岳地帯の極貧地域において、急激に宣教が拡大し、迫害も激化しています。また、特に中東、アフリカにおいて、イスラムの力によって、多くのクリスチャンたちが苦しんでいます。しかし、それ以上に彼らは喜びを持って主に仕え、社会に仕え、神の愛を伝え続けています。

主は、私たちに「渇いている者は私の所に来て飲むがよい」とおっしゃいました。迫害の中にある兄弟姉妹たちは、必死になってその信仰を守り続けています。常に自分自身の戦いを覚えている彼らは、必死に主の許に来て助けを求めて祈っています。だからこそ次々に奇跡を経験しているのだと思うのです。

法的自由が認められ、社会的にもキリスト教が認められている現在の日本に生きる私たちはどうなのでしょう？主を求める必死さがどれくらいあるのでしょうか？

平和で自由な日本の国は国際的にも魅力があり、現在では多くの外国人観光客が日本を訪れてきています。本当にこの国は素晴らしい国だと私も思っています。

それではこの国にはキリスト教は必要ないのでしょうか？信じたい人が信じていれば良いのでしょうか？答えは「No!」です。そんな素晴らしい平和の国日本でも、イエス・キリストの永遠の救いが必要です。

では、どのようにこの日本においてイエス様の愛を伝えて行けばよいのでしょうか？それは、私たちが日々互いに愛し合う姿を通してお伝えして行けばよいのです。「それによってこの世の人が、あなたがたがわたしの弟子であることを知るようになるでしょう。」とイエス様はおっしゃいました。忠実にキリストの愛に生き続ける。地道に、コツコツとその道を歩み続けることではないのでしょうか。共に神の御霊なる聖霊様を求めて祈り続けましょう！